

「ヒバクシャ国際署名」をすすめる岩手の会ニュース

“新しい署名用紙”で20万筆突破を！

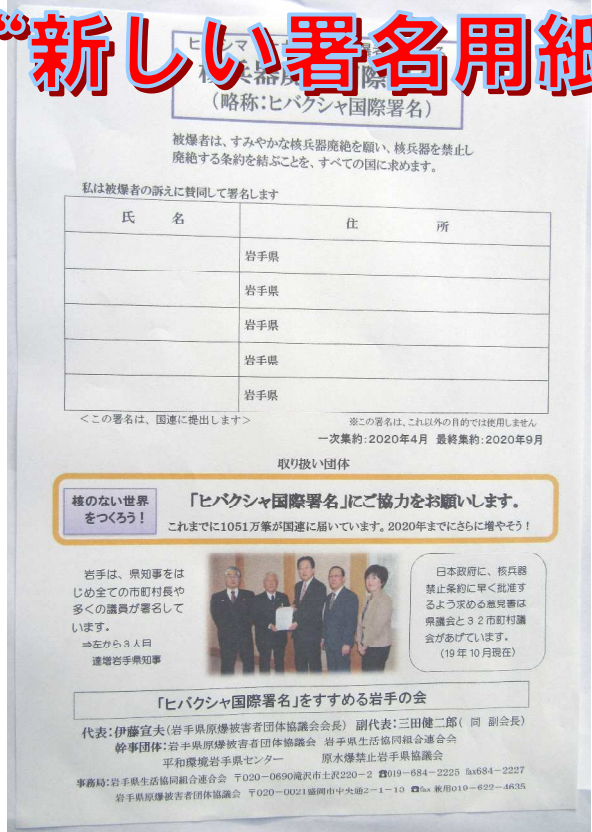
— 12月10日現在、18万筆超！ —

2016年12月「岩手の会」結成から使用してきたヒバクシャ国際署名用紙、幹事団体の代表が替わられたので、新しい署名用紙を作成しました。

表面は被爆者19人の訴えで変わらず、裏面に達増県知事と県被団協役員・生協連専務理事合同の写真と、県知事をはじめ全ての市町村長や多くの議員が署名し、日本政府に核兵器禁止条約に早く批准するよう求める意見書は県議会と32市町村議会が挙げていることを紹介しています。多くの県民に訴えやすい内容となっています。(左参照)

県事務局では、12月7日「あの夏の絵」公演までに1万枚用意し、当日、公演参加者に配布しました。これまで、「ヒバクシャ署名をすすめる遠野の会」500枚、一関原水協1000枚など地域への配布・活用が始まっています。「遠野の会」では、市の老人クラブに要請し、64の単位クラブ(会員数2564人)にお願いすることになっています。

加盟・賛同団体で必要枚数お知らせください。直ちにお届けします。



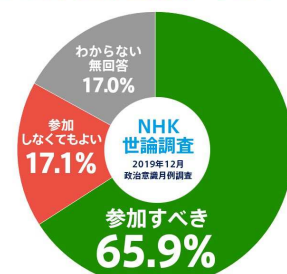
いわて生協10万筆超えました 「岩手の会」を牽引！

いわて生協は10万筆を目標に17年を集中期間として取り組み、92500筆の到達でした。今年度、残りの分を取り組もうと被団協の伊藤会長宅を訪れ、会長の被爆体験を「世界から核兵器をなくしたい」DVD(13分)と、会長の紙芝居を本人の肉声・音声で録画したCDの2点を制作し、10月～11月に県内各地で開催された秋のコープのつどいで参加者にご覧いただき、改めて署名のお願いと核廃絶の重要性について訴えました。その結果、目標の10万筆を超え、12月15日現在106,384筆となりました。

原水協の会議でもこのDVDを全員が視聴し活動の力にしています。

ローマ教皇フランシスコ、長崎・広島でメッセージ

日本は核兵器禁止条約に参加すべき？



一月二三日、二六日、日本に滞在し、長崎・広島でメッセージを発表して核兵器廃絶を訴えました。帰国後、NHK世論調査の結果です。(左表)

<https://www.nhk.or.jp/bunken/research/yoron/political/pdf/y201912.pdf>

「ヒバクシャ署名岩手の会」結成3周年記念行事 青年劇場「あの夏の絵」公演 350人観賞 感動・感涙！

【感想の一部を紹介】

- 体験したことのない被爆の実相を絵で表現する。こんなすごい高校生がいたことに感動。
- 最初は乗り気でなかった部員も変わっていき、最後に絵が完成したシーンでは思わず涙が。
- 私は学生ですが戦争を学ぶ意味が分かりませんでした。戦争体験を受け継ぐ大切さを知った。
- 高校生の熱意と葛藤。恐怖の事実に対し、きちんと 劇団員とスタッフと向き合い自分の意思で絵を描くことを決めていく姿に胸を打たれた。
- 被爆の実相を絵にするという難しい課題に取り組む高校生の姿に、未来の平和の光が一筋見出せた。
- 役者の方々の思いが伝わり、久し振りに心が洗われた思い。
- 絵を完成までこぎつけたと感心。高校生とおじいさん、おばあさんの交流が微笑ましかった。
- すばらしい劇で感動した。役者さんたち、さすがに演技が上手い！あたり前か・・・。

など、たくさんの方から「よかった」という感想をいただきました。



【達増知事からのメッセージ】

核兵器のない世界の実現や戦争のない平和な社会の実現は、全ての人々の願いです。

すみやかな核兵器廃絶を願い核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを全ての国に求める「ヒバクシャ国際署名」の運動が、「核兵器のない世界」の実現への大きな歩みとなることを願っています。

令和元年12月7日

岩手県知事 達増 拓也

目標には届きませんでした。チケット普及にご協力いただき、本当に有難うございました。